

## 2年 国語科学習指導案

1 単元名 読んで考えたことを書こう

2 教材名 どうぶつ園のじゅうい

### 3 指導の立場

#### (1) 教材観

本教材は、「わたし」という視点で、読者に語りかける表現で表されており、動物の手当などを通して、獣医の一日の仕事を、順序よく紹介している説明的な文章である。本文の文章構成は、「はじめ」「中」「おわり」となっている。第1段落「はじめ」は、話題提示、第2～第6段落「中」は、獣医の仕事内容、第7段落「おわり」は、まとめが書かれている。

第1学年「じどう車くらべ」では、条件・理由・目的・結果を表す「そのために」という言葉に着目しながら「しごと」と「つくり」の2つの視点を関連付けて読み取ることを学んだ。「どうぶつ園の赤ちゃん」では、大きさや目・耳の様子、歩く様子やえさのとおり方などの視点を押さえながら特徴や違いを読み取る学習をした。

また、第2学年の1学期に学習した「たんぼぼのちえ」では、「はじめ・中・おわり」の3つの文章構成を考えながら、時間の順序を表す言葉や「～のです。」「～からです。」などの理由づけを表す言葉に着目し、様子とわけを正しく読み取ったり、それについて分かったことをまとめたりする学習をしてきた。

本教材では、「朝」「見回りがおわるころ」等の時間的な順序をとらえ、「いつもすること」と「ある日とくべつにしたこと」というまとまりで事柄の順序を考えながら、「～からです。」「だから」等、わけを表す言葉にも着目させ、獣医の仕事やそのわけを読み取らせたい。さらに獣医の苦勞・工夫にも気付かせながら、獣医の仕事に対する感想と感想をもった理由を明らかにしてまとめる力を身に付けさせたい。

#### (2) 児童の実態

時間的順序を意識する読み方、わけを表す叙述は「たんぼぼのちえ」で一度、学んでいる。「たんぼぼのちえ」では、時間的順序を表す言葉に着目しながら、事実や現象に赤、そのわけに青のサイドラインを引き、読み取ってきた。たんぼぼの様子を読み取る際には、2年生の実態を考え、叙述と挿絵を結び付けたり、たんぼぼの様子を動作化したりといった手立てを取り入れ、わけの読み取りでは、「～のです。」「～からです。」というわけを表す文末表現に着目させた。その結果、時間的順序を表す言葉については、ほぼ全員が着目することができた。また、様子やそのわけの叙述に着目し、9割の児童がサイドラインを引くことができた。さらに、叙述と挿絵を結び付けたり、動作化したりすることで、約7割の児童は深く読み取ることができるようになった。

本教材でも、時間を表す言葉やわけを表す叙述に着目して読み取っていくようにする。どの段落も時間を表す言葉で始まっており、「いつ」やる仕事なのかは、読み取りやすい。しかし、仕事のわけは、既習の「～からです。」「～のです。」の表現で書かれている段落と、そうでない段落とがある。そこで、獣医の「したこと」に着目させ、接続詞「だから」や「～ために」という表現もわけを表す言葉であることに気付かせたり、省略されている接続詞を考えたりすることで、仕事のわけを捉えさせたい。

また、文章を読んで感想を書く学習は、文学的な文章の学習では経験してきているが、説明的な文章を読んだ感想は初めての言語活動である。感想を書くときに使う言葉として、「心に残った」という言葉を指導し、感想をもった理由も示すことができるようにしたい。また、自分の経験や人間と動物を比べたりする見方も感想をまとめる観点として指導したい。

#### 4 研究テーマに関わって

##### (1) 言語活動の充実を図った単元指導計画

言語意識を明確にし、単元を貫く課題を位置付ける単元指導計画

- ・本教材は、「はじめ」「中」「おわり」の3つのまとまりから構成されていて、説明的文章の典型となっている。「中」では、時間の順序に沿って獣医の仕事やわけを分かりやすく説明している。また、獣医の仕事の内容だけでなく、獣医や飼育員の献身的な仕事ぶりが文章から伝わってくる。行為だけでなく、動物たちに対する温かい愛情も感じ取らせることができる教材である。そこで、「読んで考えたことを書こう」という単元のめあてを決め、獣医の仕事内容について「心に残ったこと」「わけ」「考えたこと」の三段構成で『しごとかんそう文』を書く言語活動を位置付ける。そして、単元を貫く課題を「動物園の獣医さんの仕事とそのわけを読んで、獣医さんの仕事について心に残ったことを『しごとかんそう文』にまとめよう。」と設定する。

ねらいや目的に応じた言語活動の充実

- ・内容を読み取るために、獣医の仕事を時間の順序に沿って、第二次の第3時～第7時では、各段落で説明されている獣医の「しごと」とその「わけ」を読み取る。毎時間、各段落の獣医の仕事に対して「心に残ったこと」「わけ」「考えたこと」の三段構成で『しごとかんそう文』を書きためていく。「わけ」の中には、自分の経験をふまえて書くようにする。
- ・第三次では、第二次で学んできた三段構成を使って、自分の係の仕事について紹介する文を書く言語活動を位置付ける。また、科学絵本や科学読み物を読み、第二次で学習したように、「心に残ったこと」「わけ」「考えたこと」をまとめ紹介する言語活動も行う。

##### (2) 学び合いを通して、読みや表現を深める授業の在り方

根拠をはっきりとさせ、自分の考えをもつための指導・援助の工夫

- ・獣医の仕事とそのわけの叙述にサイドラインを引く。仕事については、主述の關係に着目させる。また、仕事の文末表現から「いつもすること」と「ある日だけとくべつにしたこと」に気付かせる。理由については、既習内容の「～からです。」「～のです。」の表現に着目させる。
- ・『しごとかんそう文』を書くときに、どこからそう思ったのか(心に残ったところ)を明確にするために「いつ」「どんな仕事を」「仕事をするわけ」「登場する動物」を構造的に板書に位置付ける。

仲間との学び合いの場と方法の工夫

- ・獣医の仕事の様子とそのわけを叙述の表現に即して読み深められるよう、叙述と挿絵を結び付ける。
- ・仕事の大変さをより身近に感じられるよう、動作化を取り入れる。
  - 第3時:「おはよう。」と言いながら
  - 第4時:こわがらないように、えさをたべさせ、その間に、そっと
  - 第5時:薬をのませるための4つの方法
- ・仕事の様子とその仕事をする理由だけでなく、獣医の仕事の大切さや獣医の仕事に対する喜びや嬉しさを感じ取らせるために、深めの発問をする。本時時では、「お風呂に入ることは獣医さんの仕事なのだろうか。」と深めの発問をし、さらに、「家に帰ってから、お風呂に入ってもいいのではないか。」と問い返すことで、お風呂に入るのは、「病気のもとになるものを動物園の外に持ち出さない」ための大切な仕事であることを捉えさせる。

付けたい力を自覚させ、次時への意欲を高める評価活動の工夫

- ・単位時間ごとに、獣医の仕事やそのわけについて、「心に残った感想」「わけ」「考えたこと」の三段構成で『しごとかんそう文』をまとめ、紹介する言語活動を取り入れ、第三次につなげる。
- ・本時付けたい力に関わる自己評価として
  - 獣医さんの「仕事」と「わけ」を読み取ることができたか。
  - 獣医さんの仕事に対して「心に残ったこと」「わけ」「考えたこと」の三段構成で『しごとかんそう文』にまとめ、紹介することができたか。
- の観点で毎時間の学習を振り返る。
- ・本時付けたい力について、「仕事」と「わけ」を読み取っている児童や三段構成で『しごとかんそう文』をまとめている児童の姿を認め、全体に広げる。

## 2年生 読んで考えたことを書こう 「どうぶつ園のじゅうい」

### 単元目標

時間的な順序や事柄の順序を考えながら獣医の仕事やそのわけを読み取ることができる。

読(1)イ

文章の中の大事な言葉や文を書き抜き、経験と結び付けて、感想を伝えることができる。

読(1)エ・オ

・条件に沿って経験したことをもとに書くことを決め、簡単な構成の文章を書くことができる。

書(1)ア・イ

### 単元指導計画(全12時間)

次	時	ねらい	学習活動	指導・援助および評価規準
一	1	<p>題名や写真から獣医の仕事に興味をもつことを通して、『読んで考えたことを書く』という学習の見通しをもつことができる。</p>	<p>題名や写真、絵から、内容を予想する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「どうぶつ園のじゅうい」を読んで、はじめのかんそうを書こう。</p> </div> <p>読みの観点に従って、感想を書く。 感想を交流する。 学習課題を設定する。</p>	<p>・写真や挿絵から題材に興味をもたせたり、リード文から学習に見通しをもたせたりする。 【読】初めて知ったことや不思議に思ったことなど初発の感想をもっている。</p>
		<p>どうぶつ園のじゅういさんの「しごと」とその「わけ」を読んで、じゅういさんのしごとについて心にのこったことを『しごとかんそう文』にまとめよう。</p>		
二	2	<p>全体を3つのまとまりに分ける文章構成をつかみ、挿絵と時間的順序を表す言葉をとらえることを通して、獣医のある一日の仕事について書かれていることをつかむことができる。</p>	<p>学習課題をつかみ、学習計画を立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>三つのまとまりを見つけて、だいをつけよう。</p> </div> <p>3つのまとまりに分ける。 挿絵と時間的順序を並べ、段落ごとに分ける。 各場面には、どんなことが書かれているのかを読む。</p>	<p>・内容を読み取りやすくするために、形式段落から「はじめ・中・おわり」の三つの意味段落に分けさせる。 ・時間を表す言葉に着目させる。 ・語尾に着目し、「いつもする」仕事と「ある日とくべつにした」仕事を押さえる。 【読】各場面では、何についてどのようなことが書かれているかをおおまかにつかんでいる。</p>
	3	<p>朝、獣医がする仕事内容とその理由を読み取ることを通して、毎朝、見回りをするのは、病気の時にすぐに気付くことができるよう、また、普段から顔を見せて慣れてもらうためであることに気付き、『しごとかんそう文』にまとめることができる。</p>	<p>学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>朝のじゅういさんの「しごと」と、その「わけ」を読みとり、『しごとかんそう文』にまとめよう。</p> </div> <p>仕事とわけにサイドラインを引く。</p> <p>獣医の仕事の様子と理由を話し合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「かおをみてなれてもらうことが大切」なのはどうしてだろうか。</p> </div> <p>「心に残ったところ」「わけ」「考えたこと」を『しごとかんそう文』にまとめる。</p>	<p>・「いつもする」獣医の仕事を読み取ることができるよう主述を意識させる。 ・理由を示す「～からです。」の文末表現や接続語に着目させる。 ・「もう一つあります」の表現から、見回る理由が病気に気がつくことができるだけでなく、他にもあることに気付かせる。 【読】毎朝、獣医は病気の時にすぐに気付くことができるよう、また、普段から顔を見せて慣れてもらうために見回りをするを読み取り、『しごとかんそう文』に三段構成でまとめている。</p>

4	見回りが終わってから、いのししに対して獣医がした仕事内容とその理由を読み取ることを通して、いのししのおなかにそっと機械を当て、赤ちゃんがいることを調べ、喜ぶ獣医の気持ちに気づき、『しごとかんそう文』にまとめることができる。	<p>学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">見まわりがおわるころ、じゅういさんがした「しごと」とその「わけ」を読みとり、『しごとかんそう文』にまとめよう。</div> <p>仕事（したこと）とわけにサイドラインを引く。 獣医の仕事の様子と理由を話し合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">「まちがいありません。赤ちゃんがいました。」と言っているじゅういさんはどんな気持ちだろうか。</div> <p>「心に残ったところ」「わけ」「考えたこと」を『しごとかんそう文』にまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やや本文が複雑なため、実際にどんなことをしたのかを意識させ、主述の関係を読み取らせる。</li> <li>・「そっと当てる」を動作化し、動物を思いやる獣医の気持ちを考えさせる。</li> <li>・さらに、「赤ちゃんがいました」と「まちがいありません」が加わった場合との違いから、喜ぶ獣医さんの気持ちを捉えさせる。</li> </ul> <p>【読】見回りが終わってから、いのししのおなかに赤ちゃんがいるかどうか調べ、喜ぶ獣医の気持ちを読み取り、『しごとかんそう文』に三段構成でまとめている。</p>
5 (2の1本時)	お昼前、にほんざるに対して獣医がした仕事内容とその理由を読み取ることを通して、苦い味が苦手なにほんざるを何とか助けたいという思いから、工夫をして薬を飲ませたことに気づき、『しごとかんそう文』にまとめることができる。	<p>学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">お昼前、じゅういさんがした「しごと」とその「わけ」を読みとり、『しごとかんそう文』にまとめよう。</div> <p>仕事（したこと）とわけにサイドラインを引く。 獣医の仕事の様子と理由を話し合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">じゅういさんは、どんな気持ちでくすりを飲ませたのだろうか。</div> <p>「心に残ったところ」「わけ」「考えたこと」を『しごとかんそう文』にまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4時と同様に、したことが直接書かれていないため、実際にどんなことをしたのかを意識させ、主述の関係を読み取らせる。</li> <li>・4つの工夫したことを押さえ、けがをしたにほんざるのことを心配し、やっと薬を飲み込んでくれ、ほっとする獣医さんの気持ちを捉えさせる。</li> </ul> <p>【読】お昼前、苦い味が苦手なにほんざるを何とか助けたいという思いから、工夫をして薬を飲ませたことを読み取り、『しごとかんそう文』に三段構成でまとめている。</p>
6	夕方、ペンギンに対して獣医がした仕事内容とその理由を読み取ることを通して、命に関わることでることなので大急ぎで、薬を飲ませ、吐かせたが、もう少し様子を見る必要があると思っている、獣医さんの気持ちに気づき、『しごとかんそう文』にまとめることができる。	<p>学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">夕方、じゅういさんがした「しごと」とその「わけ」を読みとり、『しごとかんそう文』にまとめよう。</div> <p>仕事（したこと）とわけにサイドラインを引く。 獣医の仕事の様子と理由を話し合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">早めに手当をしたから、もう、大丈夫だと、じゅういさんは思っているよね。</div> <p>「心に残ったところ」「わけ」「考えたこと」を『しごとかんそう文』にまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主述の関係を意識させ、獣医がしたことを読み取らせる。</li> <li>・命を守るためには、スピードも要求されることを理解させるために、「いのちにかかわるたいへんなことです。」「大いそぎで」の部分を押さえる。</li> <li>・早めに手当をしたので、一安心ではあるが、もう少し様子を見る必要があると思っている獣医さんの気持ちを捉えさせる。</li> </ul> <p>【読】夕方、命に関わることでることなので大急ぎで、薬を飲ませ、吐かせたが、もう少し様子を見る必要があると思っている、獣医さんの気持ちに気づき、『しごとかんそう文』に三段構成でまとめている。</p>

7 (2の2本時)	<p>一日の終わりに、獣医がする仕事内容とその理由を読み取ることを通して、これからのよりよい治療のために日記を書き、病気のもとになるものを動物園の外にもちださないために動物園内のお風呂に入ることに気付き、『しごとかんそう文』にまとめることができる。</p>	<p>学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>一日の終わりに、じゅいさんがする「しごと」とその「わけ」を読みとり、『しごとかんそう文』にまとめよう。</p> </div> <p>仕事(したこと)とわけにサイドラインを引く。</p> <p>獣医の仕事の様子と理由を話し合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>お風呂に入ることは、じゅういさんのしごとなのだろうか。</p> </div> <p>「心に残ったところ」「わけ」「考えたこと」を『しごとかんそう文』にまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事が2つあることをおさえるために1つの段落に時を表す言葉が2つ使われていることに気付かせる。</li> <li>・理由を示す「～からです。」や接続語に着目させる。</li> <li>・お風呂に入るのは、動物の体に人間の病気のもとになるものがついているからだけでなく、それを動物園の外に持ちださないためであることを捉えさせる。</li> </ul> <p>【読】一日の終わりには、よりよい治療のために日記を書き、病気のもとになるものを動物園の外にもちださないために動物園内のお風呂に入ることを読み取り、『しごとかんそう文』に三段構成でまとめている。</p>
8	<p>学習を通して書きためてきた『しごとかんそう文』を見直し、一番書きたいことを選ぶ活動を通して、動物園の獣医の仕事について考えたことを感想に書くことができる。</p>	<p>学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「どうぶつ園のじゅうい」を読んでかんそうを書こう。</p> </div> <p>毎時間、書きためてきた『しごとかんそう文』から一番書きたいことを選ぶ。</p> <p>「心に残った獣医さんの仕事」「そのわけ」「考えたこと」の三段構成で書く。</p> <p>読み返し、推敲する。</p> <p>友達と感想を読み合い、深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感想を書く際には、「考えたことを書くときにつかうことば」を参考にさせる。</li> <li>・自分の体験や知識と比べて、似ているところや違う所などを考えさせる。</li> </ul> <p>【書】学習を通して、獣医さんの仕事についての心に残ったこと、そのわけ、考えたことを三段構成で書いている。</p>
三 9 ・ 10	<p>自分の係の仕事の内容を「いつもすること」と「ある日とくべつにすること」に分けてカードに書く活動を通して、自分の係の仕事の家の人に紹介する文章を書くことができる。</p>	<p>学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>じぶんのかかりかつどうについて、しようかいする文を書こう。</p> </div> <p>作例から、書き方を知る。</p> <p>三段構成で、書くことをワークシートにまとめる。</p> <p>ワークシートをもとに、三段構成で文章に書く。</p> <p>読み返し、推敲する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習したことを生かすために、「自分の係の仕事」について時間的順序をおってまとめさせる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いつもすること」「とくべつにすること」に分けて、中の内容を考えさせる。</li> </ul> <p>【書】学習したことを生かし、「いつもすること」と「ある日とくべつにすること」に分け、係の仕事を紹介する文章を書いている。</p>
11 ・ 12	<p>科学絵本や読み物を読み、心に残ったことを伝えあう活動を通して、読書への意欲を高めることができる。</p>	<p>学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>本を読んで、心にのこったことをかんそう文に書き、友だちにしようかいしよう。</p> </div> <p>紹介したい本、紹介したいところを決める。</p> <p>読んだ感想を「心に残ったこと」「わけ」「考えたこと」三段構成で書く。</p> <p>書いた文を読み合い、感想を伝える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・並行読書してきた科学絵本や読み物から、心に残ったことに付箋を付けさせておく。</li> <li>・感想文に書く観点を示す。</li> </ul> <p>【関】科学的な読み物を進んで読み、心に残ったことを伝えあうことで、読書への意欲を高めている。</p>

## 5 本時のねらい

一日の終わりに、獣医がする仕事内容とその理由を読み取ることを通して、これからのよりよい治療のために日記を書き、病気のもとになるものを動物園の外にもちださないために動物園内のお風呂に入ること

ことに気づき、『しごとかんそう文』にまとめることができる。

## 6 本時の展開 (7 / 12)

	学習活動	指導・援助・評価	評価規準
つかむ	1 前時の学習を振り返り、本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     一日の終わりに、じゅういさんがする「しごと」とその「わけ」を読みとり、『しごとかんそう文』にまとめよう。                 </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の課題意識をもたせるために、前時の学習を想起させ、学習したことを確認する。</li> <li>・時を表す言葉「一日の終わり」に着目させ、本時、学習する段落を確認する。</li> </ul>	
考える	2 仕事(したこと)にサイドラインを引き、確認をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事(赤のサイドライン)</li> <li>・「日記を書きます。」 書く内容 あったできごと 気がついたこと</li> <li>・「お風呂に入ります。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1つの段落に2つの仕事がかかれている。どちらの仕事も先にやったのか順序を問い、「さいごに」という時を表す言葉にも着目させる。</li> <li>・したことの文末表現に着目させ、仕事は「いつもすること」であることを確認する。</li> <li>・日記に書く2つの内容を確認し、実際の獣医さんの日記を提示することで、次の学習活動である理由を読み取る手立てとする。</li> </ul>	
深める	3 「日記を書く」「お風呂に入る」わけにサイドラインを引き、話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・わけ(青のサイドライン)</li> <li>・「日記を書く」 次に同じような病気やけがあったとき、よりよい治療をするため</li> <li>・「お風呂に入る」 動物の体には、人間の病気のもとになるものがあるから、それを動物園の外に持ち出さないため</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     【深めの発問】 お風呂に入ることは、獣医さんの仕事なのだろうか。                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     一日の終わりのしごとは、日記を書くことです。それは、よりよいちりょうをするためです。さいごに、お風呂に入ること仕事です。びょう気のもとをどうぶつ園の外にもちださないためです。                 </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事のわけを読み取ることができるよう理由を示す「～のです。」の表現に着目させる。</li> <li>・「よりよいちりょう」について第4段落のほんざるの場面を想起させる。</li> <li>・「お風呂に入る」理由は、2段階で説明されている。接続語「だから」に着目させ、「それ」を指す内容も読み取らせる。</li> <li>・深めの発問をすることで、「病気のもとになるものがあるから、それを動物園の外に持ち出さないのです。」の表現に着目して考え、一日の終わりに毎日する仕事の大切さに気付かせる。</li> <li>・さらに、「家に帰ってから、お風呂に入ってもいいのではないか。」と発問することで、お風呂に入ることは、「病気のもとになるものを動物園の外に持ち出さない」ための仕事であることをとらえさせる。</li> <li>・第7段落の一文を確認し、獣医さんの一日の仕事には、第2段落から第6段落までに書かれていたたくさんの仕事があったことを確認する。</li> </ul>	
まとめる	4 第7段落を読み、仕事を確認する。		
	5 心に残ったことを『しごとかんそう文』にまとめる。 1日のおわりにお風呂に入るところが心にのこりました。 わけは、びょう気のもとをもちださないためには、お風呂に入ることが大切なことだと分かったからです。 人間のおいしゃさんも同じようにびょういんの中のお風呂に入ってびょう気のもとを外に持ち出さないようにしているのか知りたいです。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     「読むこと」(1)イ・オ 一日の終わりには、よりよい治療のために日記を書き、病気のもとになるものを動物園の外に持ち出さないためにお風呂に入ることを読み取り、『しごとかんそう文』に三段構成でまとめている。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「心に残ったこと」「わけ」「考えたこと」の三段構成で書くよう観点を示す。</li> </ul>	
つなげる	6 学習の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「仕事」と「わけ」を読み取ることができたか、『しごとかんそう文』を書くことができたかの観点で学習の振り返りをする。</li> </ul>	